

用語解説

- ・嗜（たしなむ）平常時から用意すること。
- ・当意（とうい）その場で即座に考えること。
- ・寄親（よりおや）擬制的な血縁関係によって従者・被保護者を指揮・統制する者のこと。指南・奏者とも呼ばれた。
- ・こそて（小袖）小さな袖の着物。表衣として用いた。
- ・かたひら（帷子）裏を付けない布製の衣類。胴帷子は袖がないもの。
- ・中間・小者（ちゅうげん・こもの）武士の雑事に使役される下級の従者。
- ・代物（しろもの）代呂物とも書く。貨物・商品のこと。

